

2018年11月9日

上場会社名 アネスト岩田株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6381 URL <http://www.anest-iwata.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 壺田 貴弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 鷹野 巧一 TEL 045-591-9344
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	19,318	21.9	2,319	18.6	2,599	11.0	1,651	11.8
2018年3月期第2四半期	15,847	9.6	1,956	4.9	2,341	26.2	1,476	12.0

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,116百万円 (28.7%) 2018年3月期第2四半期 1,565百万円 (408.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	39.57	
2018年3月期第2四半期	35.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	47,522	33,105	62.1
2018年3月期	47,277	32,777	61.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 29,516百万円 2018年3月期 29,006百万円

(注) 企業会計基準第28号「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の公表に伴い遡及適用を行ったため、2018年3月期について、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		10.00		10.00	20.00
2019年3月期		11.00			
2019年3月期(予想)				10.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	9.7	4,000	4.6	4,400	1.1	2,820	0.4	67.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	41,745,505 株	2018年3月期	41,745,505 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	6,659 株	2018年3月期	6,659 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	41,738,846 株	2018年3月期2Q	41,738,891 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P10
(継続企業の前提に関する注記)	P10
(セグメント情報)	P10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、相対的に緩やかな回復基調が続いてまいりましたが、一方で、米中貿易摩擦に伴う中国経済の減速や、新興国通貨安といった潜在的なリスクが内在しており、先行きは不透明な状況にあります。日本経済におきましては、堅調な雇用環境と個人消費、大手企業を中心とした設備投資に支えられ、引き続き底堅く推移いたしました。

そのような経営環境の中、当社グループが「真のグローバルワン・エクセレントメーカー」を目指して事業活動を続けてきた中期経営計画も、半年程度を残すところとなりました。

圧縮機製品では、堅調な設備投資が続く日本を始めとする各国において、省エネ性を追求した生産設備としてオイルフリースクロールコンプレッサの販売が好調に推移いたしました。インド、ブラジルなどの新興国およびアセアン諸国における医療向け圧縮機ユニットや付帯機器、また中国を主としたアジア、アメリカなどで鉄道車両および電動バス等の公共交通機関向け車両搭載用圧縮機ユニットの販売が引き続き伸長しております。このように世界中で拡大する、オイルフリースクロールコンプレッサの圧縮機本体の供給能力を更に増強すべく、福島工場に導入した自動組立ラインが稼働を開始いたしました。その他、当年度より連結対象となりました中国の圧縮機製造・販売会社による業績が大きく貢献いたしました。真空機器製品では、引き続き好調な半導体製造装置に加えて、日本国内の販路活用により、一般工業市場向けにオイルフリースクロール真空ポンプの販売が増加しました。海外におきましては、アメリカ、ヨーロッパにおいて苦戦をしているものの、台湾、中国を主としたアジアの半導体製造工程に伴う各種検査装置などが好調に推移しました。塗装機器製品では、塗料メーカー各社様の特定塗料に対する認証取得活動の他、塗装作業環境の改善や塗装品質を高める上で必須とされる塗装ブースのモデルチェンジを行いました。日本では、従来にも増してコンサルテーション営業へシフトすべく、機器単体に留まらず塗料供給や塗装作業環境の改善など、塗装工程に対するシステム提案を強化する体制を構築いたしました。総じて堅調な海外市場におきましても、各国の工業塗装ユーザを再認識することで、各地域に見合ったモデルの提案活動をすすめております。塗装機器製品に含まれ、塗料以外の液体を扱う液圧機器製品では、国内外を問わず、食液・接着剤塗布専用のスプレーガン、液体供給機器などの拡販活動を継続しております。塗装設備製品では、日本を始めとして試し塗りの施設をフル活用し、設備導入のご提案を可視化する活動を継続しております。また、より多くのお客様にご来社いただき、満足度を高めていただくことを目的として、本社の試し塗り施設・ショールームを一新する工事にも着手いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高19,318百万円（前年同四半期連結累計期間対比21.9%増）、営業利益2,319百万円（同18.6%増）、経常利益2,599百万円（同11.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,651百万円（同11.8%増）となりました。

①セグメントの業績

セグメントの業績については、「2. 四半期連結財務諸表-(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の（セグメント情報等）に記載のため省略しております。

②製品別売上高

(単位：千円)

製品区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前年同四半期比増減	
	2017年4月1日～ 2017年9月30日		2018年4月1日～ 2018年9月30日		増減額	増減率(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)		
圧縮機	7,814,690	49.3	10,287,899	53.2	2,473,209	31.6
真空機器	943,741	6.0	928,485	4.8	△15,256	△1.6
塗装機器	5,950,733	37.5	6,541,456	33.9	590,723	9.9
塗装設備	1,138,239	7.2	1,561,120	8.1	422,881	37.2
計	15,847,404	100.0	19,318,962	100.0	3,471,558	21.9

(2) 財政状態に関する説明

資産は、流動資産が25,428百万円（前連結会計年度比0.2%減）となりました。固定資産は22,093百万円（同1.4%増）となりました。これは主に、台湾の小形圧縮機メーカーの株式を取得したことにより、「のれん」が295百万円増加し

たことなどによるものです。その結果、総資産は47,522百万円(同0.5%増)となりました。

負債は、流動負債が10,249百万円(同4.9%減)となりました。これは主に、「短期借入金」(一年以内返済長期借入金を含む)が209百万円減少したことなどによるものです。固定負債は、4,166百万円(同12.0%増)となりました。これは主に、「その他」に含まれるリース債務(固定)が増加したことなどによるものです。その結果、負債合計は14,416百万円(同0.6%減)となりました。

純資産は、33,105百万円(同1.0%増)となりました。また、純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は29,516百万円となり自己資本比率は前連結会計年度末の61.4%から0.7ポイント増加し62.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想は、2018年5月10日に公表しました連結業績予想に変更はありません。配当予想は、本日(2018年11月9日)公表しました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,225,287	9,157,273
受取手形及び売掛金	7,624,339	7,674,299
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	3,876,983	3,873,185
仕掛品	918,367	896,850
原材料及び貯蔵品	2,138,244	2,339,639
その他	1,373,957	1,203,871
貸倒引当金	△176,820	△216,493
流動資産合計	25,480,360	25,428,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,389,865	5,366,246
その他(純額)	6,648,729	6,796,378
有形固定資産合計	12,038,594	12,162,625
無形固定資産		
のれん	1,588,301	1,884,124
その他	1,946,621	1,784,390
無形固定資産合計	3,534,922	3,668,514
投資その他の資産		
投資有価証券	4,617,239	4,682,447
その他	1,617,577	1,590,884
貸倒引当金	△11,095	△11,093
投資その他の資産合計	6,223,722	6,262,238
固定資産合計	21,797,240	22,093,378
資産合計	47,277,600	47,522,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,769,153	4,701,292
短期借入金	1,767,728	1,558,042
未払法人税等	604,634	650,815
賞与引当金	628,046	648,660
その他の引当金	318,903	266,494
その他	2,690,533	2,424,242
流動負債合計	10,778,999	10,249,547
固定負債		
退職給付に係る負債	2,401,451	2,350,623
その他	1,319,410	1,816,128
固定負債合計	3,720,861	4,166,752
負債合計	14,499,860	14,416,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,324,472	1,117,838
利益剰余金	23,307,605	24,541,620
自己株式	△5,387	△5,387
株主資本合計	27,981,043	29,008,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	863,484	898,600
為替換算調整勘定	416,156	△142,708
退職給付に係る調整累計額	△254,633	△247,845
その他の包括利益累計額合計	1,025,007	508,046
非支配株主持分	3,771,688	3,589,233
純資産合計	32,777,739	33,105,704
負債純資産合計	47,277,600	47,522,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	15,847,404	19,318,962
売上原価	8,789,571	11,030,749
売上総利益	7,057,833	8,288,213
販売費及び一般管理費	5,101,201	5,968,382
営業利益	1,956,632	2,319,830
営業外収益		
受取利息及び配当金	59,958	63,843
持分法による投資利益	105,734	140,451
為替差益	186,540	39,156
その他	61,469	78,100
営業外収益合計	413,702	321,551
営業外費用		
支払利息	9,068	34,372
その他	20,176	7,823
営業外費用合計	29,245	42,196
経常利益	2,341,088	2,599,185
特別利益		
固定資産売却益	1,428	1,891
段階取得に係る差益	—	2,697
特別利益合計	1,428	4,588
特別損失		
固定資産除売却損	9,566	27,015
解体撤去費用	1,214	8,101
子会社整理損	97,132	20,397
特別損失合計	107,913	55,514
税金等調整前四半期純利益	2,234,604	2,548,260
法人税、住民税及び事業税	729,498	795,112
法人税等調整額	△25,132	△53,855
法人税等合計	704,365	741,256
四半期純利益	1,530,238	1,807,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	53,312	155,600
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,476,926	1,651,402

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	1,530,238	1,807,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	184,608	35,116
為替換算調整勘定	△103,871	△708,694
退職給付に係る調整額	961	6,787
持分法適用会社に対する持分相当額	△46,037	△23,759
その他の包括利益合計	35,659	△690,549
四半期包括利益	1,565,898	1,116,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,502,393	1,134,441
非支配株主に係る四半期包括利益	63,505	△17,987

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,234,604	2,548,260
減価償却費	581,011	768,982
のれん償却額	76,912	124,602
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,164	47,772
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,502	22,802
製品保証引当金の増減額(△は減少)	5,530	△16,716
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	52,000	8,242
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△94,925	△82,944
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,003	△35,608
受取利息及び受取配当金	△59,958	△63,843
支払利息	9,068	34,372
持分法による投資損益(△は益)	△22,780	△38,461
固定資産除売却損益(△は益)	8,138	25,123
子会社整理損	97,132	20,397
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△2,697
売上債権の増減額(△は増加)	490,396	△197,379
たな卸資産の増減額(△は増加)	△273,106	△214,673
仕入債務の増減額(△は減少)	△553,934	283,794
その他	△269,933	△82,777
小計	2,279,819	3,149,247
利息及び配当金の受取額	60,291	63,843
利息の支払額	△9,068	△34,372
補助金の受取額	406,300	—
法人税等の支払額	△764,809	△741,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,972,532	2,437,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△318,841	△760,318
定期預金の払戻による収入	292,246	1,113,367
有形固定資産の取得による支出	△853,619	△723,951
有形固定資産の売却による収入	12,932	265,451
無形固定資産の取得による支出	△15,207	△56,299
投資有価証券の償還による収入	634,251	—
出資金の払込による支出	—	△252,014
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△313,239
貸付けによる支出	—	△514
貸付金の回収による収入	2,344	30,199
事業譲受による支出	△80,069	—
その他	△3,830	△6,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329,795	△704,170

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△283	52,194
リース債務の返済による支出	△72,492	△75,702
長期借入れによる収入	110,100	257,600
長期借入金の返済による支出	△27,949	△411,262
自己株式の取得による支出	△63	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の払込による支出	—	△351,303
配当金の支払額	△459,452	△417,461
非支配株主への配当金の支払額	△75,354	△153,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△525,495	△1,099,767
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,888	△301,963
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,123,131	331,664
現金及び現金同等物の期首残高	7,678,657	7,692,535
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,801,788	8,024,200

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,805,603	1,901,856	2,928,506	13,635,966	2,211,438	15,847,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,428,447	131,914	652,061	3,212,423	78,590	3,291,014
計	11,234,051	2,033,770	3,580,568	16,848,390	2,290,028	19,138,418
セグメント利益	2,038,319	169,222	248,118	2,455,659	150,839	2,606,499

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,455,659
「その他」の区分の利益	150,839
セグメント間取引消去	△75,320
全社費用(注)	△574,546
四半期連結損益計算書の営業利益	1,956,632

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,508,049	2,360,778	5,973,309	16,842,137	2,476,824	19,318,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,696,363	135,789	758,908	3,591,061	86,082	3,677,143
計	11,204,412	2,496,567	6,732,218	20,433,199	2,562,906	22,996,106
セグメント利益	1,957,397	194,901	578,955	2,731,254	99,501	2,830,756

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,731,254
「その他」の区分の利益	99,501
セグメント間取引消去	51,129
全社費用(注)	△562,055
四半期連結損益計算書の営業利益	2,319,830

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。